

素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がる場合があります。また日光が当たった部位に症状があらわれたり、悪化することがあります。

3、5～6日間使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この袋を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

効能・効果
腰痛、筋肉痛、肩こりに伴う肩の痛み、関節痛、腱鞘炎(手・手首の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、ねんざ

用法・用量
ライナーをはがし、1日1回患部に貼付してください。ただし、1回あたり2枚を超えて使用しないでください。なお、本成分を含む他の外用剤を併用しないでください。

〈用法・用量に関連する注意〉
(1)15歳未満の小児に使用させないでください。(2)用法・用量を厳守してください。(3)本剤は、痛みやはれ等の原因になっている病気を治療するのではなく、痛みやはれ等の症状のみを治療する薬剤なので、症状がある場合だけ使用してください。(4)皮膚の弱い人は、使用前に腕の内側の皮膚の弱い箇所に、1～2cm角の小片を目安として半日以上貼り、発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等の症状が起きないことを確かめてから使用してください。(5)1回あたり、24時間を超えて貼り続けしないでください。さらに、同じ患部に貼りかえる場合は、その貼付部に発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等の症状が起きていないことを確かめてから使用してください。(6)同じ部位に他の外用剤を併用しないでください。(7)汗をかいたり、患部がぬれている時は、よく拭き取ってから使用してください。

成分・分量(膏体100g中)
ジクロフェナクナトリウム……………1.0g

添加物として、亜硫酸Na、エドト酸Na、L-メントール、グリセリン、CMC-Na、ジエタノールアミン、ゼラチン、二酸化ケイ素、パラベン、BHT、ポリアクリル酸部分中和物、ポリビニルアルコール(部分けん化物)、硫酸Al/K、その他3成分を含有します。

保管及び取扱い上の注意

(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。(2)小児の手の届かない所に保管してください。(3)他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります)。(4)使用期限を過ぎた商品は使用しないでください。(5)ご使用後は中身の乾燥を防ぐためしっかりとシールを開けてください。



製造番号
使用期限

袋 : PE, M, PET
シールふた : PP, PET 1E179M

大判サイズ
10cm×14cm

1枚ずつ
取り出しやすい
ポケシップ®

シップの
サイズ
そのまま

Hisamitsu®

7枚入

外用薬
経皮鎮痛消炎剤

フェイタス ジップ F
ジクロフェナク ナトリウム1.0%配合

HELLO! ECO! 当社従来品に比べて包装サイズを小さくしました。

第2類医薬品

関節・筋肉などの **痛み** に **24時間 1日1回**

シップの端からはがれにくい

丸かど シップ
▲開け口

微香性

ピッタリフィット!
全方向伸縮自在!

▼本商品についてのお問い合わせは、お買い求めの薬局・薬店、又は下記の「お客様相談室」までお願い申し上げます。

製造販売元 **久光製薬株式会社** お客様相談室: TEL.0120-133250
〒841-0017 鳥栖市田代大官町408番地 受付時間 / 9:00-17:50
https://www.hisamitsu.co.jp (土日・祝日・会社休日を除く)
▲当社HELLO!eco!プロジェクトの詳細はこちらへ。副作用被害救済制度: ☎0120-149-931

セルフメディケーション
税 控 除 対 象

詳しい情報は
こちらへ▼

【ご使用方法】
○表面のシールを開け口のところから開け、1枚ずつ取り出しお使いください。
○中身の乾燥を防ぐため、ご使用後はシールを元のようにつかり閉めてください。

ご使用に際して、この説明書を必ずお読みください。また、必要に応じてすぐ読めるように大切に保管してください。

第2類医薬品
経皮鎮痛消炎剤
販売名: フェイタス®Zジップ F

△ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと
「守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。」
1. 次の人は使用しないでください。
(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2)ぜんそくを起こしたことがある人。(3)妊婦又は妊娠していると思われる人。(4)15歳未満の小児。2. 次の部位には使用しないでください。(1)目の周囲、粘膜等。(2)湿疹、かぶれ、傷口。(3)みずむし・たむし等又は化膿している患部。3. 本剤を使用している間は、他の外用鎮痛消炎薬を併用しないでください。4. 連続して2週間以上使用しないでください。

■ 相談すること
1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。(1)医師の治療を受けている人。(2)他の医薬品を使用している人。(3)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(4)バツワ病でかぶれ等を起こしたことがある人。(5)次の診断を受けた人。消化性潰瘍、血液障害、肝臓病、腎臓病、高血圧、心臓病、インフルエンザ(6)次の医薬品の投与を受けている人。ニューキノロン系抗菌剤、トリアムテレン、リチウム、メトトレキサート、非ステロイド性消炎鎮痛剤、ステロイド剤、利尿剤、シクロスポリン、選択的セロトニン再取り込み阻害剤(7)高齢者。2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があり、直ちに使用を中止し、この袋を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、皮膚のおれ、刺激感、色素沈着、水疱、落屑 [らくせつ(皮膚片の細かい脱落)]

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック(アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれます。
接触皮膚炎	貼付部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺戟感、水疱、ただれ等の激しい皮膚炎症状や色